

# 防災の心得

早く安全に避難！

## 避難時の注意事項

災害時に避難する時は、普段通っている道でも、足元が見えないことが多いので慎重に歩きましょう。

また、頭上からの落下物や飛来物にも十分注意しましょう。いざという時あわてないためにも、どこへ、どの道を通って避難するのかを、日ごろから家族や隣近所で話し合っておきましょう。

### ●避難経路の確認

災害時には通れなくなってしまう道もあるので、避難場所

までの経路は、複数検討しましょう。



### ●非常持出品の準備

非常用備品は事前に準備し定期的に点検しておきましょう。また、避難時に持ち出すものは必要最小限にしましょう。



### ●情報の入手

雨が強くなってきたら、気象、雨量、河川水位などの情報に注意しましょう。



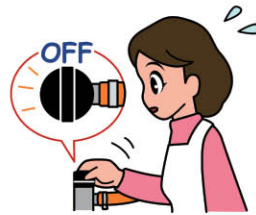
### ●避難時は市役所などの指示に従いましょう

避難の際はあわてず、市役所や消防団の指示に従って行動しましょう。

避難するときは、2人以上での行動を心がけましょう。



### ●火の始末、戸締り



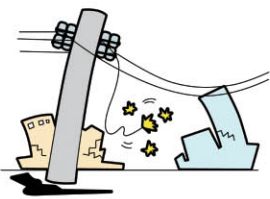
火の始末、戸締りを忘れずにしましょう。

### ●避難する時はメモを残しましょう



避難する時は、家族に連絡先、安否情報などのメモを残しましょう。

### ●たれ下がった電線に注意



たれ下がった電線にさわらないようにしましょう。

### ●徒歩で避難

車での避難は、交通渋滞が発生し、緊急車両の通行を妨げるおそれがあります。車での避難は避けて、徒歩で避難しましょう。



### ●避難時は助け合おう！

自力で避難することが困難な方は、早めの避難が必要です。お年寄りやこどもが安全に避難できるように協力しましょう。



■大雨時の避難では以下の点にも注意しましょう。



ゴム長靴は歩きにくいので、はきなれた底の固い靴がよい。



水中のマンホールや溝に注意しましょう。



水中で歩くことのできる深さは50 cmです。



家族はロープでつながって（または手をつないで）避難しましょう。



逃げ遅れたときは堅牢な建物の2階以上に避難しましょう。